2025年3月期
決算説明

2025年4月24日
日野自動車株式会社

25年3月期　決算トピックス

	24年度　実績		25年度　通期見通し	
販売台数	グローバル販売台数 125.0千台 前年同期比 ▲4.0%	・国内　41.2千台　前年比 <+13.8%> A09C出荷再開により販売増 ・海外　83.8千台　前年比 <▲10.8%> タイを中心にアセアン市場減速	グローバル販売台数 115.0千台 前年同期比 台数▲10.0千台 (▲8.0%)	・国内　37.0千台　前年比 <▲10.2%> 出荷停止車両の期中再開 小トラ販売低迷 ・海外　78.0千台　前年比 <▲6.9%> インドネシア・タイ市場減速
営業利益	575億円 前年同期比 +656億円	・アセアン市場低迷の影響があるも 国内大トラ出荷再開、トヨタ向けの 台数増、為替円安により増益	400億円 前年同期比 ▲175億円	・為替円高、仕入先コスト増対応など、 外的要因により減益 ・内部努力による収益力向上は 着実に推進
当期純損益	▲2,178億円 前年同期比 ▲2,349億円	・北米認証関連（▲2,584億円） ・豪州集団訴訟和解金(▲87億円) ・日野中央土地売却(＋337億円) ・保有株式の売却益(＋180億円)	200億円 前年同期比 ＋2,378億円	・認証関連損失は24年度までに 概ね処理済みで新規発生を想定せず

1)販売の状況

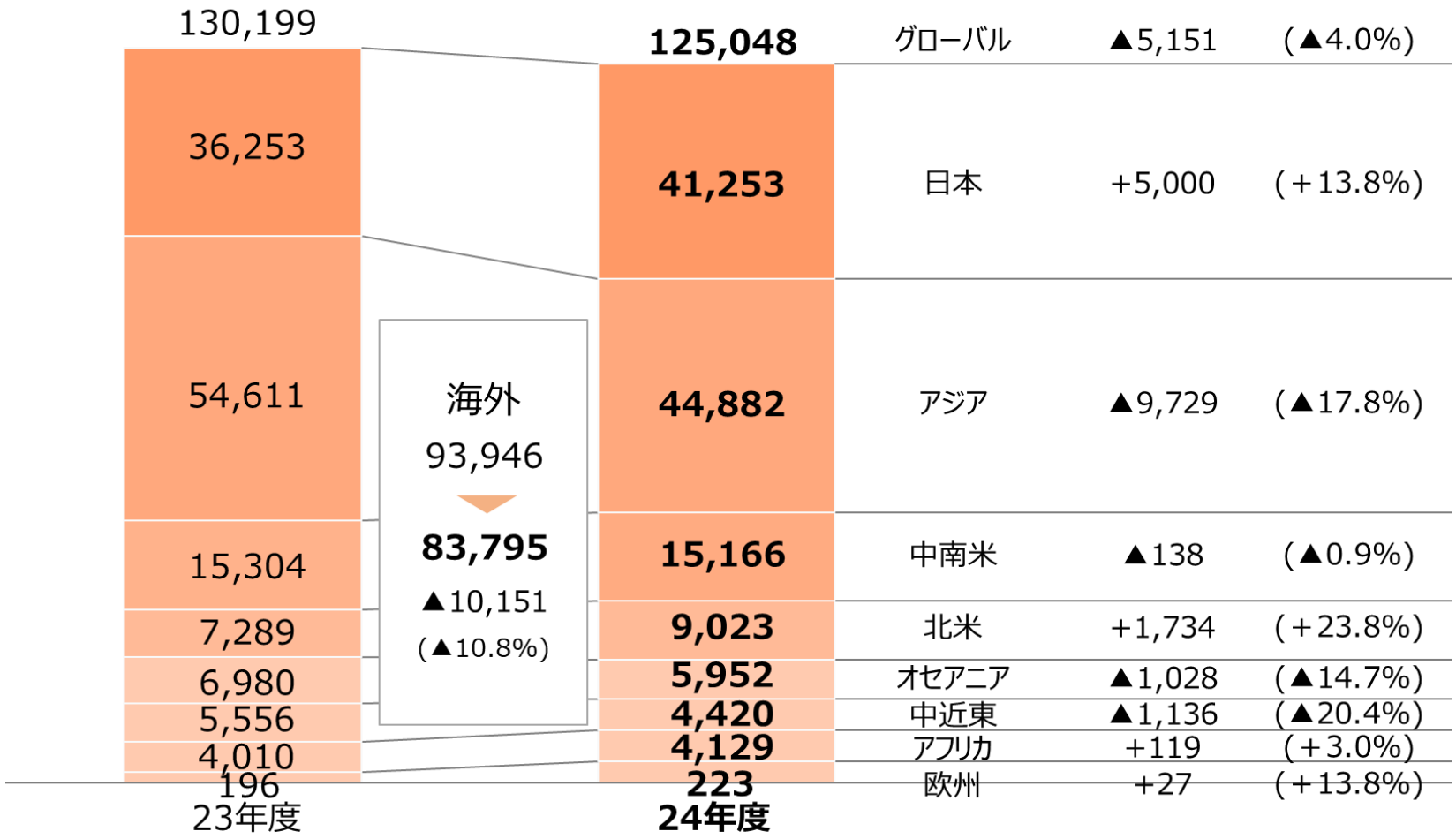
2)連結決算の状況

3)25年度 通期見通し

グローバル販売台数（地域別総台数）

・グローバル販売台数は 125千台、前年比 ▲5.2千台（国内 +5千台、海外 ▲10.2千台）
・タイを中心としたアジア経済の低迷により前年比減

(単位：台)

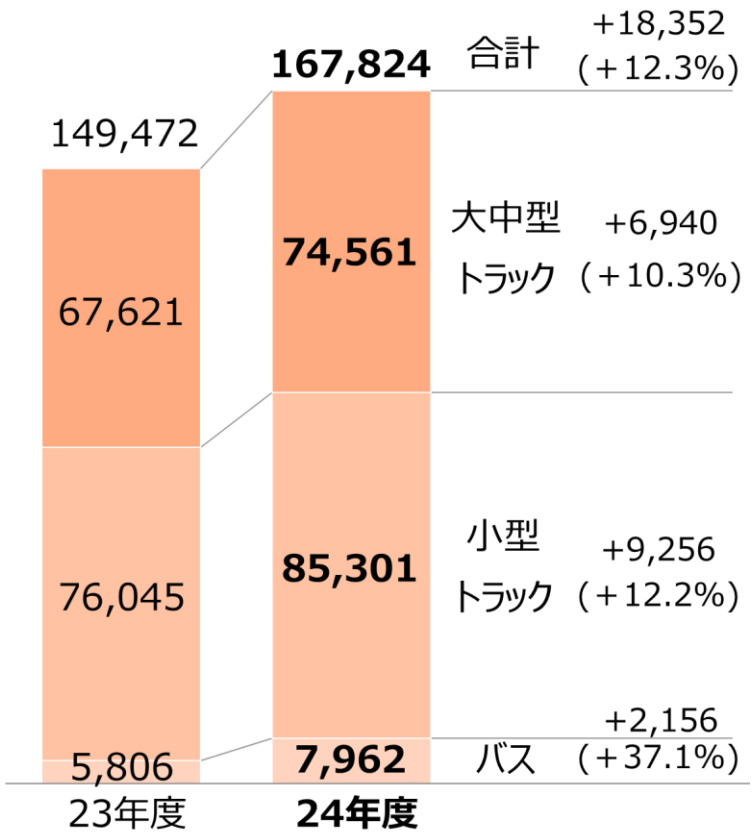


国内トラック・バス市場の状況

総需要　：部品供給の改善等に伴う各社生産の回復により、前年比 +12.3%増
日野販売：大型トラックがA09Cエンジン搭載車の供給正常化に伴い大幅に増加したことにより、全体で＋5.0千台の増

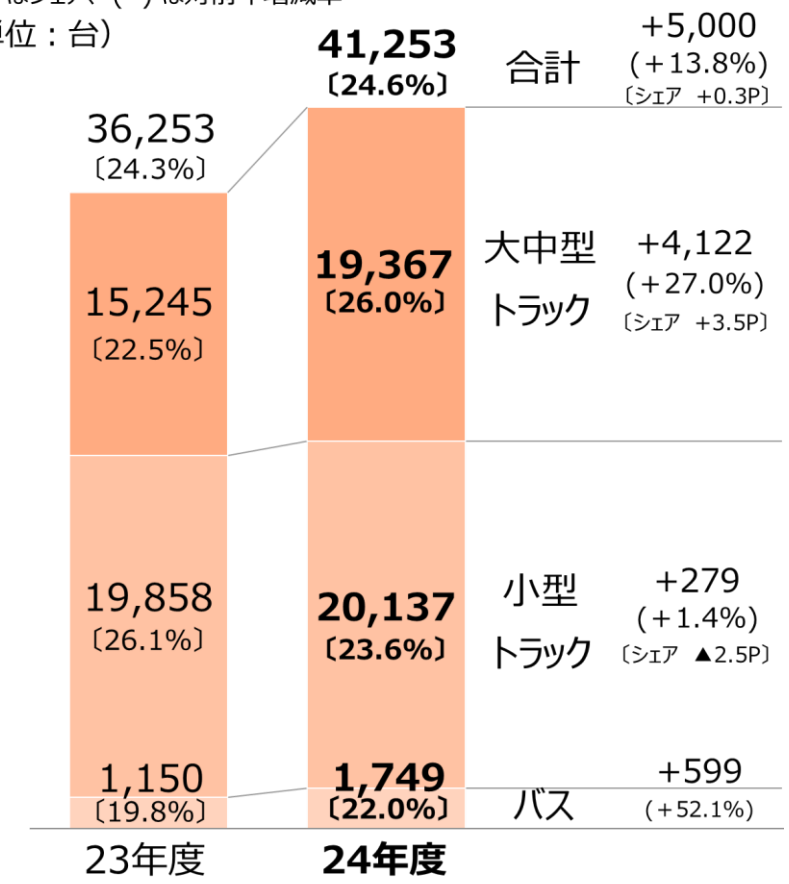
総需要

（単位：台）



日野販売〔シェア〕

〔 〕はシェア、( ) は対前年増減率
（単位：台）



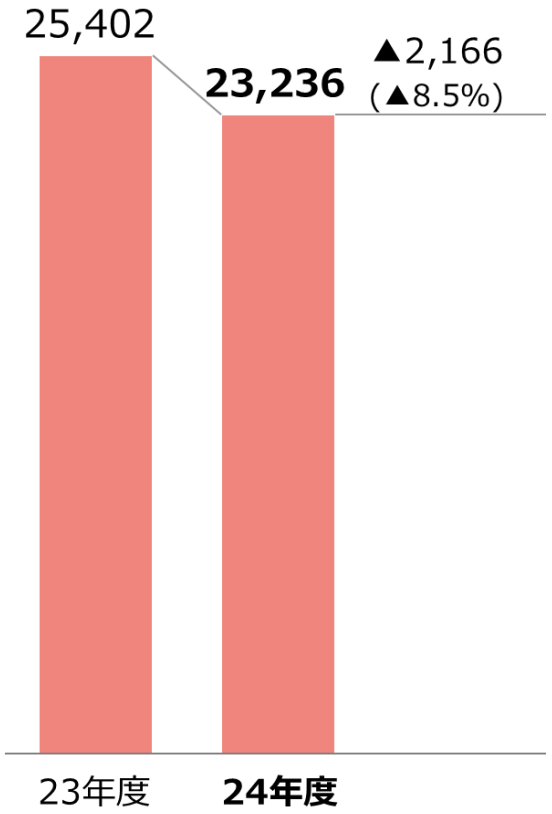
インドネシア・タイ販売台数

インドネシア：大統領選の短期終了により政治的影響は軽微も、経済の減速により前年比減
タイ　　：経済の低迷およびローン審査の厳格化による市場縮小の影響等を受け大幅減

（単位：台）

インドネシア

（単位：台）

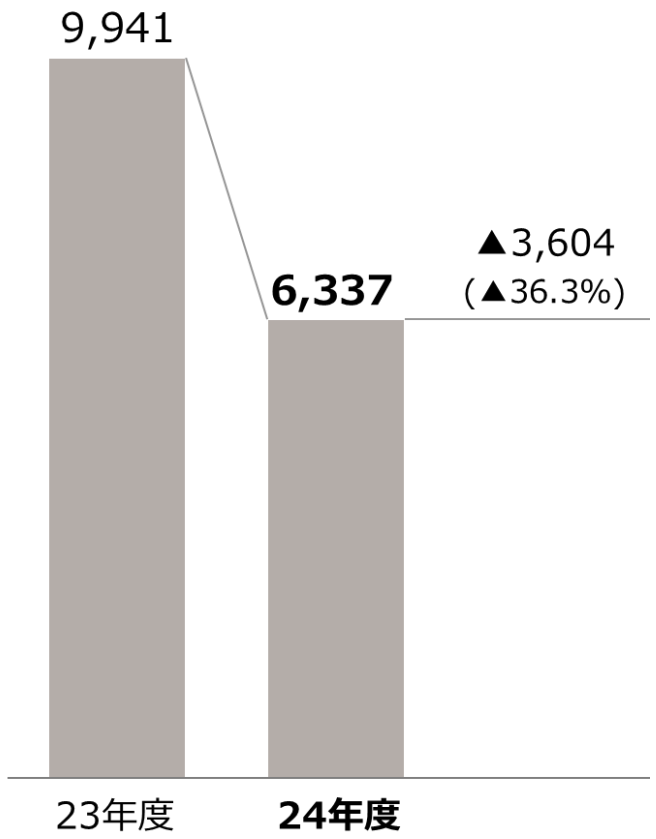


（単位：台）

タイ

※当期より、登録基準で表示
（比較の便宜上、前年も同基準に見直し）

（単位：台）

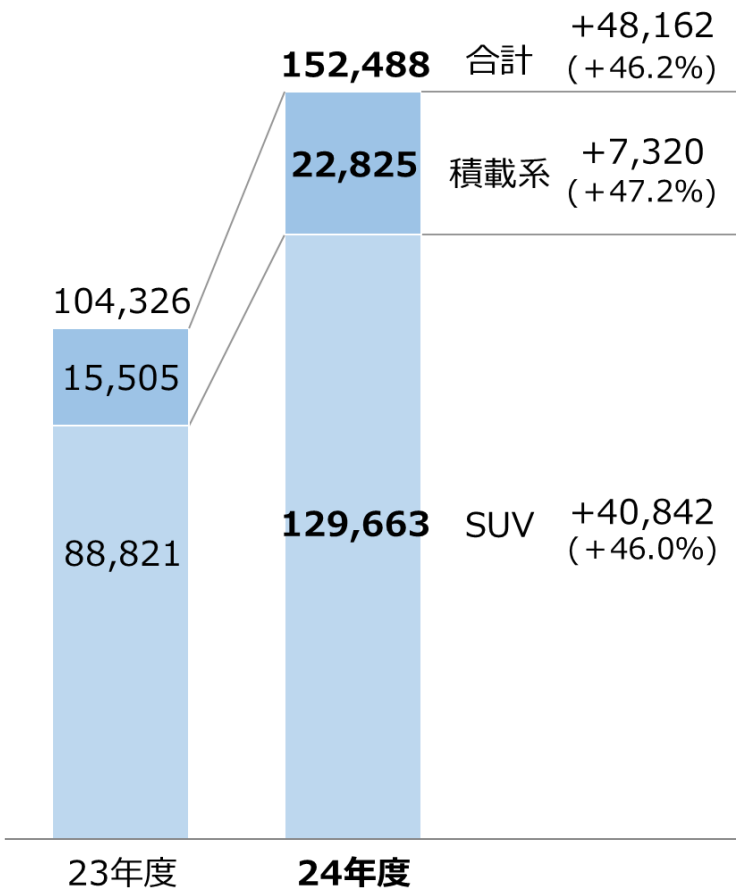


トヨタ向け車両・ユニット売上

・車両はSUV、積載系ともに前年比大幅増加、ユニットはタイが需要減となったものの米国の増加により増

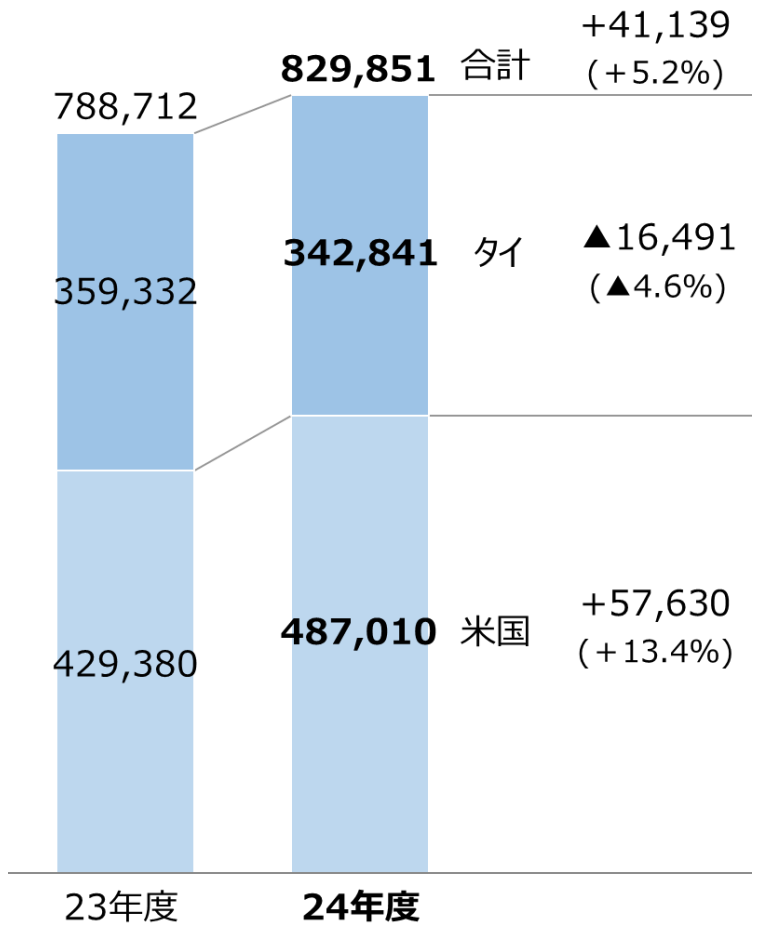
車両

（単位：台）



ユニット (タイ・米国ユニット販売)

（単位：ユニット）



1)販売の状況

2)連結決算の状況

3)25年度 通期見通し

連結損益の状況

（単位：億円）

科目	24年度	23年度	増減
売上高	**16,972**	15,163	+1,809
営業利益	***(3.4%)*** **575**	*(▲0.5%)* ▲81	*(+3.9p)* +656
経常利益	***(2.3%)*** **393**	*(▲0.6%)* ▲92	*(+2.9p)* +485
親会社株主に帰属する当期純損失	***(▲12.8%)*** **▲2,178**	*(1.1%)* 171	*(▲13.9p)* ▲2,349

（　）は、売上高利益率

■ 連結売上台数

（単位：台）

	24年度	23年度	増減
国内	**41,989**	38,572	+3,417
海外	**85,834**	92,056	▲6,222
トヨタ	**152,488**	104,326	+48,162

■ 為替レート

	24年度	23年度
ＵＳＤ	**153**	142
ＴＨＢ	**4.38**	4.09
ＩＤＲ（100）	**0.96**	0.94
ＡＵＤ	**100**	94

連結営業利益の変動要因［対 前期実績］

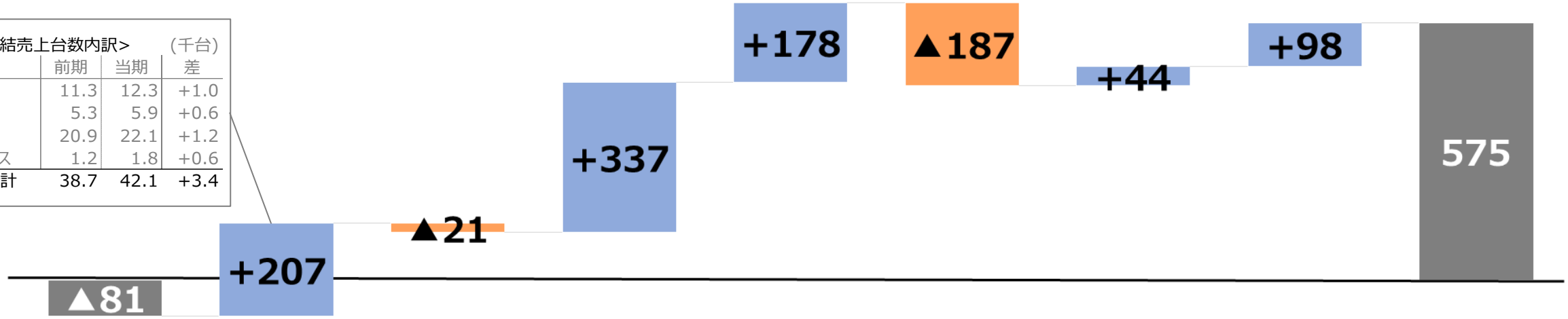
・円安進行に加えて、国内事業 及び トヨタ事業(新型SUV効果/価格改善等)の収益増により、営業増益

(単位：億円)

営業利益　+656 (▲81 → 575)

<連結売上台数内訳>　(千台)

	前期	当期	差
大	11.3	12.3	+1.0
中	5.3	5.9	+0.6
小	20.9	22.1	+1.2
バス	1.2	1.8	+0.6
合計	38.7	42.1	+3.4



23年度 実績 | 国内 | 海外 | トヨタ 他 | 為替 | 市況 | 原価改善 | 原価・諸経費の増減 | 24年度 実績

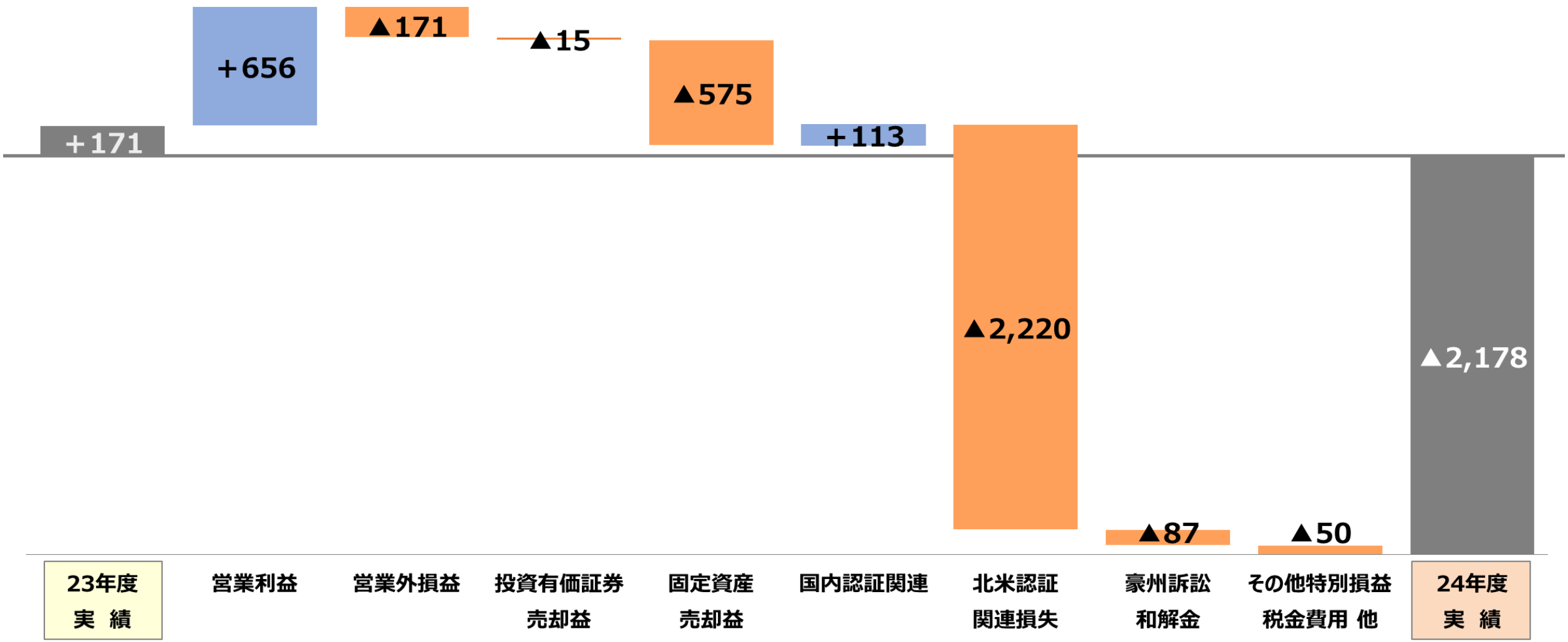
販売面の影響　　環境面の変化

国内		海外		トヨタ他		為替(4月-3月)		市況		原価改善		原価・諸経費の増減			
構成差	▲15	台数	▲140	車両	+171	USD〈142 → 153〉	+89	<新規>	▲85	工場	+10	<一時費用>	+58	<継続費用>	+32
価格	+148	価格(新規/波及)	+107	海外ユニット	+139	IDR 〈0.94 → 0.96〉	+19	通常分	▲33	設計	+12	訴訟関連費用	+40	品質費用	+107
TS	+74	TS	+12	PT	▲9	THB 〈4.09 → 4.38〉	+37	仕入先対応	▲52	資材	+10	北米開発	+26	償却費	▲22
				仕入先	+36	AUD 〈94 → 100〉	+35	<波及>	▲102	物流	+4	日高/日野西側賃借料	▲20	プロジェクト費用他	▲53
						TWD 〈4.48 → 4.69〉	+20	材料他	▲102	子会社	+8	その他	+12	<原価変動>	+8
						他	+23							稼働ロス	+8
						固定費換算差	▲45								
計	+207		▲21		+337		+178		▲187		+44				+98

連結当期純利益の変動要因［対 前期実績］

(単位：億円)

当期純損失　▲2,349 (171 → ▲2,178)



連結所在地別セグメント 売上高・営業利益

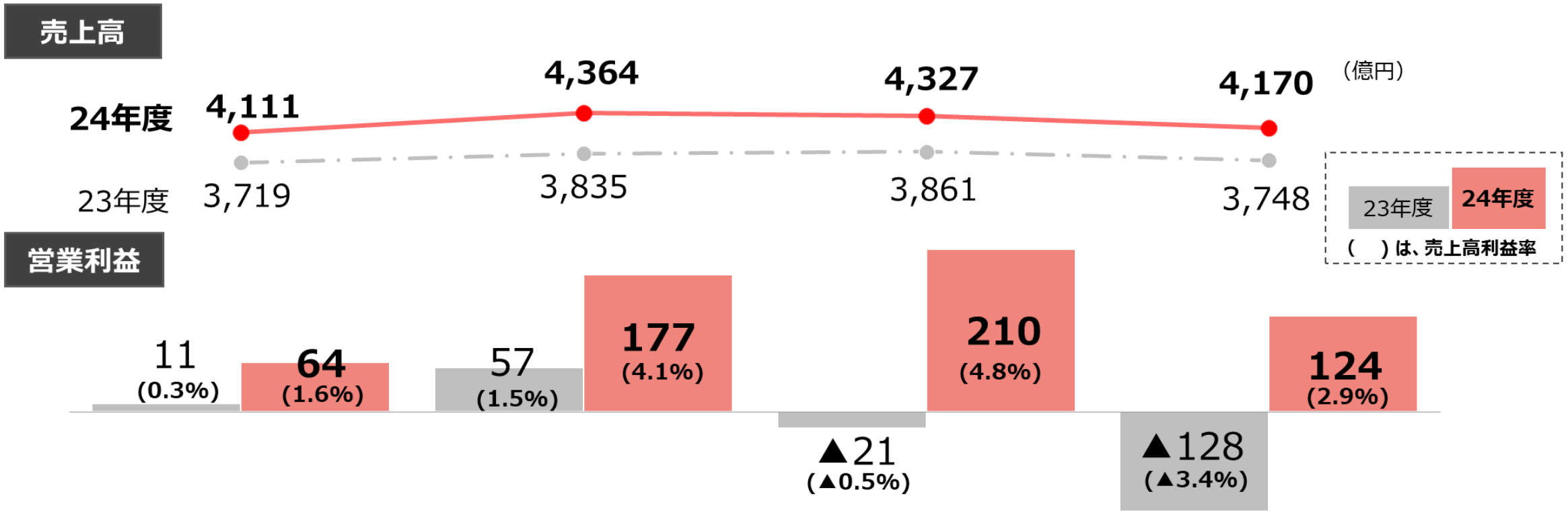
日本：トラック・バス及びトヨタ車両の増加、為替円安により増収増益
アジア：車両価格改善/トータルサポート収益拡大も、タイを中心とした台数減により減収減益
その他地域：主として北米のトラック事業の台数増により増収、黒字確保

（単位：億円）

	24年度		23年度		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	**11,729**	***(2.4%)*** **284**	10,265	*(▲1.5%)* ▲156	+14.3% +1,464	− +440
アジア	**4,246**	***(5.8%)*** **246**	4,614	*(6.9%)* 319	▲8.0% ▲368	▲22.9% ▲73
その他地域	**3,347**	***(1.9%)*** **65**	2,796	*(▲9.4%)* ▲263	+19.7% +551	− +328
調整	**▲2,350**	**▲20**	▲2,512	19	+162	▲39
計	**16,972**	***(3.4%)*** **575**	15,163	*(▲0.5%)* ▲81	+11.9% +1,809	− +656

（　）は、売上高営業利益率　　増減欄の%は、対前年増減率

連結四半期別売上高・営業利益推移



	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
為替レート	23年	24年	23年	24年	23年	24年	23年	24年
ＵＳＤ	135	154	144	153	149	149	147	154

1)販売の状況

2)連結決算の状況

3)25年度 通期見通し

25年度 業績見通し　前提条件

		24年度実績	期首公表（4月24日）
グローバル販売台数		125.0千台	115.0千台 (▲10.0千台)
国内		41.2千台	37.0千台 (▲4.2千台)
海外		83.8千台	78.0千台 (▲5.8千台)
トヨタ向け台数		152.5千台	165.2千台 (+12.7千台)
為替 (年度平均)	USD	153円	140円
	IDR(100)	0.96円	0.85円
	THB	4.38円	4.25円
	AUD	100円	90円

連結損益の状況

（単位：億円）

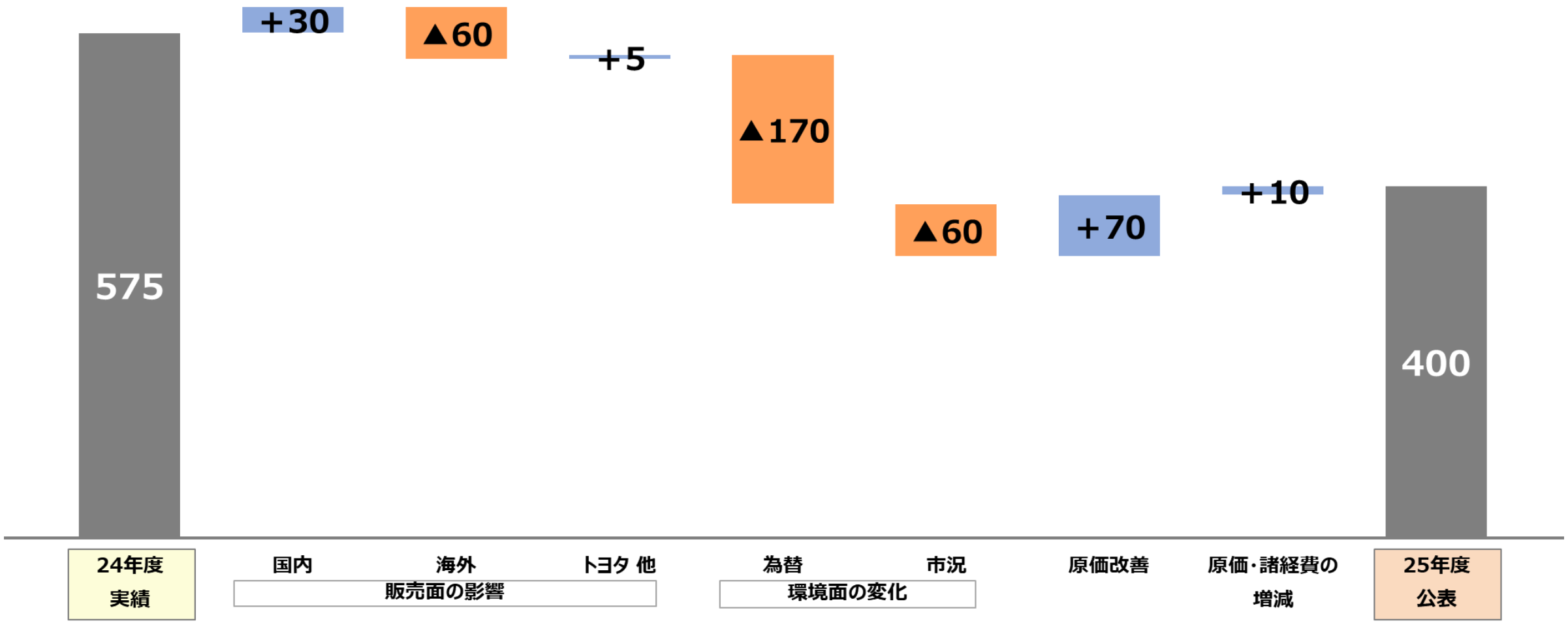
科目	25年度 4/24公表	24年度 実績	増減	増減率
売上高	**15,000**	16,972	▲1,972	▲11.6%
営業利益	**(2.7%) 400**	(3.4%) 575	(▲0.7p) ▲175	▲30.4%
経常利益	**(2.3%) 350**	(2.3%) 393	– ▲43	▲11.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	**(1.3%) 200**	(▲12.8%) ▲2,178	(+14.1p) +2,378	–

(　) は、売上高利益率

連結営業利益の変動要因

(単位：億円)

営業利益　▲175 (575 → 400)



HINO

人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する

誠実
Integrity

コンプライアンスを徹底し、
誠実に行動します

貢献
Contribution

安全・環境にこだわり、
未来の社会を支えます

品質・プロフェッショナルにこだわり、
お客様の事業を支えます

共感
Empathy

互いを尊重し、
安全安心な職場をつくります